

部 局	市立豊中病院	補 職	病院事業管理者 総長 病院長	氏 名	直川俊彦 藤野裕士 岩橋博見
-----	--------	-----	----------------	-----	----------------

1. 部局の使命

地域の医療機関との連携を推進し、急性期医療を担う中核病院として、救急や小児・周産期、感染症などの政策医療、また、がん診療など高度で良質な医療を提供することで地域医療を支えます。こうした医療の質を確保・向上するためにも、公営企業として経営の効率性・効果を高め、安定した運営を行います。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
(1) 公立病院の使命である政策医療の向上を追求し、市民・地域医療機関からの信頼を高めるとともに、収支構造の黒字化を遂げるために、組織を挙げて課題及び目標を共有して取り組みます。 (2) 組織の使命を遂行するため、『市立豊中病院運営計画』（取組期間：令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)）に基づき、下記の視点で病院運営ならびに変革に取り組みます。 - 急性期医療を中心とした医療機能の充実 - 地域医療連携の推進 - 医療の安全と患者サービスの向上 - 安定した経営基盤の確立 (3) 働き方改革の推進、新生5センターをはじめ職種・部門を超えた連携協力の推進などの取り組みをとおして、病院運営ならびに変革の基盤となる人づくり・組織づくりを強化します。	(1) 安定した経営基盤の確立に向けて、病院全体で目標と方向性を共有し、取り組みを進めました。新規入院患者数の増加や収益の向上など前進が図られましたが、当院の経営はいまだ厳しい状況にあります。令和7年度は、経営向上の転機のある年度としてこれまで以上の変革にチャレンジします。 (2) 救急搬送依頼に対する応需の向上に向けて、8月から消防局の救急救命士の救急診療部門への配置を試行実施しました。 - 手術室の運用効率化、緊急手術フローの見直し等を行い、1月から土曜日手術を開始しました。平日の緊急手術の入れ易さが改善され、緊急手術件数の増加に繋がりました。 - 地域医療機関からの緊急受診依頼について、受け入れが困難な際は医師による対応を原則とし、地域医療機関からの信頼の向上に繋がりました。 7月に「患者サポートセンター」を設置し、全ての予定入院患者に対し、入院前からのサポート体制を整備しました。 5月から産後ケアの対象を当院以外での出生を含む産後3か月以内に拡大しました。また、付き添い入院における環境整備として、付き添い者用仮眠ベッドを6台配置しました。（子育てしやすさNo.1関連） - 病床稼働率等について病棟別・診療科別に目標を設置し、モニタリング、課題抽出、改善を実施しました。診療科ミーティングでの課題認識を通じて、診療単価の向上に取り組みました。 (3) 医師を対象とした院内表彰制度を実施し、職員のモチベーション向上を図りました。 3月に市立豊中病院人材育成プランを策定し、今後の人材育成に向けた考え方を明示しました。 - 新生5センターは、多職種の職員を配置し、専門スタッフを育成するとともに、疾患に対する診療機能を集約すること、チームでより良質で安全・安心な医療を提供しました。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	急性期医療を中心とした医療機能の充実	(1) ①救急救命士に関する委員会を6月に開催、消防局救急救命士配置の試行は8月より各4日ずつ計11回、夜間当直の施行を3回実施しました。 ②近隣医療機関及び院内職員に向けた、がんゲノム医療講演会を実施しました。 ・外来治療センターを令和6年(2024年)5月より旧3北病棟へ移転し、24床へ増床しました。 ・とよなががんサロン、ToyonakaAYAトークを開催し患者サロンの充実に努めました。(参加者133名/18名) ③小児・周産期にかかる地域の中核病院としての責務を果たしました。 ④各センターで多職種での患者指導等を実施するとともに、チーム医療の充実強化を行いました。 ⑤通常時間帯の手術室運用の効率化、緊急手術のフローの見直し等を行い、1月から土曜日手術を開始しました。平日緊急手術の入れやすさの改善に伴い、緊急手術件数のペースが向上しました。	(1) ①令和7年(2025年)4月より消防局救急救命士を市立豊中病院救急診療部門に配置します。救急救命士は3か月交代で配置され、24時間×3交替制を基本とします。消防局と当院間で課題共有、協議を重ね、増加する救急需要への新たな対応策の創案につなげます。 ②がん遺伝子パネル検査の紹介患者増に向けて、紹介方法等判りやすい情報発信を行います。 ・血液がん遺伝子パネル検査に対応したシステム改修とともに、実施に向けた血液内科を含めた体制を整備を検討します。 ・外来治療センターについては、スペース再編のなかで再度の移転となることから患者や職員の動線を含めて検討します。 ・ToyonakaAYAトークの参加者の増加に向けて周知や開催方法を含めて検討します。 ③引き続き小児・周産期にかかる地域の中核病院としての責務を果たしていきます。 ④引き続き、多職種連携及びチーム医療の充実強化を行います。 ⑤引き続き、平日時間内手術実施の円滑な運用を行います。
	(1) 地域の急性期医療を担う中核病院として専門的な医療を充実させるとともに、政策医療を安定的に提供します。また、がん診療及び5領域の医療を充実・強化します。		
	①救急医療の強化【重点1】		
	・消防局救急救命士配置の試行実施(6月)〔新規〕		
	②がん医療の強化		
	・がんゲノム医療に関する情報の発信		
	・血液がんに対するがん遺伝子パネル検査の実施〔拡充〕		
	・外来化学療法の治療スペースを拡充(15床から24床)〔拡充〕		
	・がんサロン及びAYAトークの開催(月1回)		
	③周産期・小児医療の充実等、子育てしやすいまちづくりへの貢献(子育てしやすさNo.1関連)【重点1】		
・ハイリスク妊産婦や低体重出生児に対して応援医師等人員体制を確保し、24時間入院対応が可能な小児地域医療センター及び地域周産期母子医療センターとしての役割を果たします(通年)			
・地域の産科クリニックやはぐくみセンター、保健所と連携強化し、情報発信やサポート等をおこない、子育て世代のニーズに応えます(通年)〔拡充〕			
④5センターによる多職種連携・チーム医療の充実強化〔新規〕			
⑤手術・急性期リハビリテーションの充実強化〔拡充〕			
・手術実施件数の増・手術室運用の効率化(通年)			
・急性期リハビリテーションの充実強化(9月)			
総合計画			
2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
基本政策			
24	市立豊中病院の機能強化	42	がん患者等への支援の充実

No	当年度目標(当初設定)		実績			
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果		課題・今後の方向性	
2	地域連携の推進		(1) ①診療科部長等による医療機関訪問を行いました。：97件(2月末) ※前年度18件 ・登録医総会・地域医療支援委員会をwebや対面により実施しました。 ・返書管理のあり方等の考え方を整理し、今後の方針を検討しました。 ・地域医療機関からの緊急受診時の対応にかかる院内体制を整理し運用しました。 (2) ①「市立豊中病院ネット」の登録医療機関は前年度より6件増え、116件となりました。(2月末現在) 関西メディカル病院との連携を開始するとともに訪問看護ステーションとの連携について検討・調整しました。 (3) ①退院支援相談担当職員等による医療機関訪問とともに、医療福祉相談に対応しました。 ・訪問件数448件※2月末現在(前年度は406件) ②医療福祉相談2,587件※2月末現在(前年度は2,385件) ③「患者サポートセンター」を設置し(7月)、全ての予定入院患者について、入院前からの支援を開始しました。 ・「下り搬送」にかかる「救急患者連携搬送料」の活用について検討・調整を実施しました。 * 協定締結病院数…8(2月末現在)		(1) ①「戦略的集患ミーティング」での分析・検討内容を踏まえ、効果的な医療機関訪問等を実施し、顔の見える関係づくりを行い、紹介患者数の増につなげます。 ・地域の医療従事者に向けた研修を行います。 ・地域医療機関との連携を強化するための、前方支援(紹介・逆紹介)をよりスムーズに実施するための体制整備を行います。 ・紹介元に対し、内容が充実した「返書」での確実な報告を行う体制を整備します。 (2) ①「市立豊中病院ネット」については、地域医療機関との共同診療への活用に向け、医療機関訪問時における声掛け等を通じて参加医療機関の増加に繋がります。 (3) ③患者支援室の拡充に伴い、入院前から退院後を見据えた切れ目のない支援を促進します。 ・「下り搬送」を促進するための体制整備を進めます。	
	(1) 集患効果を見据えた、連携強化に向けた取組みを実施します。 ①地域医療機関との連携及び信頼関係の強化 ・診療科部長による医療機関訪問 ・当院の医療内容や取り組み等に関する情報発信の強化〔拡充〕 ・登録医総会(4月) ・紹介元に対して、内容が充実した「返書」での確実な報告 ・緊急症例の受け入れに関し、信頼に応える対応(医師による真摯な聴き取り) 【重点1】 (2) ICTを活用した地域医療機関との情報連携を進めます。 ①「市立豊中病院ネット」の普及促進・業務運用見直し (3) 病院や介護施設との後方連携を強化し医療と介護の連携を図るとともに、入院前から退院後を見据えた相談支援を可能とする体制を構築していきます。〔拡充〕 ①カンファレンスによるケアマネージャー等との情報共有、連携の強化 ②MSWを中心とした医療福祉相談体制の強化 ③患者支援室における相談業務を起点とした、入院前から退院後を見据えた支援					
総合計画						
2-2- (3)		地域医療の充実を図ります				
基本政策						
24	市立豊中病院の機能強化		38	在宅医療と介護の連携促進		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	医療の安全と患者サービスの向上 (1) 患者やその家族が安心してサービスを受けることができるよう、患者満足度の向上等に取り組みます。 ・患者満足度調査の実施(10月) ・オンライン資格確認制度への対応(通年) ・心臓ペースメーカーの遠隔モニタリングの実施(通年) ・電子カルテシステム更新に向けた業務のデジタル化推進および職員の意識醸成(病院側業務の効率化を前提とした外来医事委託業務のスリム化) (2) 日本医療機能評価機構からの更新認定に取り組みます。 ・病院機能評価検討委員会の活動(4月～) ・前回の指摘等を踏まえた課題等の改善(通年) (3) 入退院時の手続きや説明等について、患者の利便性とサービス向上を図る仕組みを構築します。 ・全予定入院患者を対象とした支援の実施(7月)〔拡充〕 (4) 公共施設等総合管理の一環として病院施設設備の適正管理を行います。 ・長期修繕および施設更新にかかる資金シミュレーション ・トイレ洋式化の設計(4月～)、施工(11月～)〔拡充〕 (5) 産後ケアを拡充します。(対象拡大)〔拡充〕 ・当院以外の病院等で出産されたケースに対しても、産後ケアを実施(5月～)(子育てしやすさNo.1 関連) (6) 医療内容や新規取組み等に係り、SNSなどの新たな媒体を活用して発信を強化します。〔拡充〕 (7) 付き添い入院に関する環境整備や子育て世代への支援を行います。(子育てしやすさNo.1 関連) ・付き添い者用仮眠ベッドの配置〔新規〕 ・保育士の配置による、入院時の日常生活支援等	(1) オンライン資格確認の認証機器を2台増設し、保険証のマイナンバーカード化に対応しました。 ・急性期充実体制加算の要件変更に対応するため、必要な機能の実装を行いました。 (2) 病院機能評価検討委員会を4月に立ち上げ、合計5回開催、受審に係るサーベイヤール講演会を5月に開催しました。 (3) 「患者サポートセンター」を設置し(7月)、全ての予定入院患者について、入院前からの支援を開始しました。〔再掲〕 (4) 長期修繕計画改訂版を策定、院内説明会を5月に実施しました。 ・トイレの洋式化(5カ所)とオストメイト(1カ所)の設置を3月までに行いました。 ・次期病院建替えを見据え、長期修繕や施設更新を含めた長期的な財務シミュレーションを実施しました。 (5) 産後ケアの対象を当院以外での出生を含む産後3ヶ月以内に拡大して5月から実施しました。 (6) Youtubeにて5月に「市立豊中病院の役割」、9月に「脳卒中センター」、「心臓病センター」、「がん診療」を発信しました。 (7) 付き添い者用仮眠ベッドを5月および10月に購入し、合計6台配置しました。	(1) オーダー業務について、フルオーダーに対応するためのMAの人材育成と業務整理を行います。 (3) 患者支援室の拡充に伴い、入院前から退院後を見据えた切れ目のない支援を引き続き促進します。〔再掲〕 (4) 施設設備にかかる課題の洗い出しと検討を行います。 ・残る3カ所の和式トイレに関し、洋式化を実施します。 ・施設長寿化方針等を踏まえ、引き続き長期的な財務及びシミュレーションを実施します。 (6) 引き続き、SNS(YouTube等)を活用し、病院の情報や院内環境を発信します。
	総合計画		
	2-2- (3) 地域医療の充実を図ります		
基本政策			
24	市立豊中病院の機能強化	37	オンライン診療の促進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	安定した経営基盤の確立	(1) ①各部門で目標設定を行い、病院幹部によるヒアリングを実施し、課題等を経営企画会議、院内で共有しました。 ②病棟別や診療科別に目標値を設定し、指標のモニタリング、課題抽出・改善を実施しました。 ・経営企画会議にて、診療実績の分析評価、課題、取組みの方向性を共有しました。 ・診療科ミーティングを実施し、課題認識を通じての診療単価の向上に取り組みました。 ③急性期病院としての考え方を示した「転院調整についてのお願い」を全入院患者に配布し、医師が治療方針とともにその趣旨を説明することとしました。(6月) ④⑤⑥DPCの説明資料の作成、パスを含めた主な疾患別の医療資源投入量の分析等を行いました。 ⑦ベンチマークを活用した薬品・診療材料の価格交渉・購入を行いました。 ・経営企画会議等で薬品・診療材料の予算執行状況報告を行いました。 ・物品物流管理(SPD)業務委託者選定プロポーザルを実施しました。 ・当院と同規模病院と医業収益に対する経費割合の比較を行いました ⑧クラウドファンディングの実施の可能性について、他病院等の事例研究を進めました。	(1) ①部門別予算・決算の精度を更に向上させ、予算執行管理に関する意識向上に繋がります。 ・病院幹部によるヒアリングを継続し、部門別の具体的な取り組み目標、課題について共有し、改善を行います。 ②目標未達の要因分析と施策立案、施策実行の方法、担当者の育成などが課題です。 ・経営企画会議を中心に目標数値が未達の場合の要因分析を行い、改善に取り組みます。 ・重要指標のモニタリングを継続し、各部門における収益向上に向けた取り組みを推進します。 ⑦引き続き薬品の購入において、ベンチマークを活用しコスト削減を図ります。 ・物品物流管理(SPD)業務について、円滑な運用を確保するとともに費用の抑制を図ります。 ・引き続き、治験や製造販売後調査等の拡充を行います。 ⑧クラウドファンディングの実施に向けて、共感の得られるプロジェクトの選定等、検討を進めていきます。
	(1) 持続可能な病院運営に向け、1～3の取組みの成果を結集し収支構造を改善します。【重点2】 ①職員の経営意識の醸成 - 院内ポータルを活用した情報発信(通年) - 診療科部長会議における情報提供・各種研修の実施(通年) ②病床稼働率の向上 - 目標値の設定(4月) - 病棟別目標にかかる指標モニタリング・課題抽出・改善(4月～) ③新規入院患者数の向上 - 救急医療体制の強化 - 診療科別目標にかかる指標モニタリング・課題抽出・改善(4月～) - 入院患者の早期転院・退院への協力にかかる広報・周知 ④入院診療単価の向上 - 高度で専門的な医療の提供による診療単価の向上 ⑤クリニカルパスの見直し - クリニカルパスの改善(医療資源投入量の適正化等) ⑥経営分析及び戦略立案の強化 - 診療実績の分析評価(通年) - データに基づく課題及び取組み方向性の共有 ⑦薬品費・診療材料費の適時把握・総額抑制、諸経費の見直し - 予算の例月執行状況の把握(通年) - 近隣病院との薬品・診療材料の共同購入に関する調整(上半期) - 委託料縮減に向けた近隣病院の状況調査及び意見交換(上半期) - 後発医薬品・バイオ後続品への積極的な切り替え(通年) - 適正な採用品目の維持、採用品の見直し(通年) - 月毎の薬品購入費モニタリング及び情報共有(通年) ⑧多様な収入確保〔拡充〕 - 受託研究費等の確保 - 寄附に結びつく発信の強化 クラウドファンディング実施の調整		
	総合計画		
	2-2- (3) 地域医療の充実を図ります		
	基本政策		
	24 市立豊中病院の機能強化		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	人づくり・組織づくりの推進【重点3】	(2) 院内表彰制度を医師から先行実施し、病院の基本理念、方針、目標に対して、総合的に優れた功績を有する者を表彰しました。 (4) 各職場の状況に応じて、4月より特殊日勤勤務、時差出勤など、柔軟な勤務体制を導入しました。また、医師の勤務間インターバル確保などに対応するため、時差出勤に加えて特殊日勤勤務を使用しやすい環境を整え、その利用方法について院内に周知しました。 (5) 市立豊中病院人材育成プランを3月に作成し、専門職の多い病院において各職種に応じた人材育成プランを明示しました。	(2) 院内表彰制度の医師以外の職種への拡充について検討します。 (4) 特殊日勤勤務や時差出勤のより積極的な利用を促し、利用しやすい雰囲気づくりを推進します。 (5) 市立豊中病院人材育成プランの実施および進行管理を行います。
	(1) 質の高い急性期看護を提供し、増加する高齢患者の速やかな回復をはかるため、また効率的なタスクシフト/シェアを実現し持続可能な病院運営に貢献するため、専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了者の育成を強化します〔拡充〕 ①麻酔分野の特定看護師の養成（令和6年度修了） ②慢性疾患看護専門看護師、認知症看護認定看護師の養成（令和7年度修了） ③救急外来における特定行為の実践を開始 (2) 院内表彰制度を医師から先行実施します。〔新規〕 ・病院の基本理念、方針、目標に対して、総合的に優れた功績を有する者を表彰（11月） (3) 5センターによる多職種連携・チーム医療の充実強化を図ります。【再掲】〔新規〕 (4) 働きやすい職場環境の整備を行います。 ・各職場の状況に応じて、特殊日勤勤務、時差出勤など、柔軟な勤務体制を導入（4月～） (5) 職種毎のキャリア形成支援の仕組みを強化します。 ・各職種の育成プランの作成（3月）〔新規〕		
総合計画			
	2-2- (3) 地域医療の充実を図ります		
基本政策			
24	市立豊中病院の機能強化	65	職員力を高める人材育成等の推進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	働き方改革の推進		
	(1) 医師の時間外労働にかかる上限規制が令和6年(2024年)4月から適用されたことを踏まえ、医師の健康を確保し、働きがいのある職場づくりに向けて、長時間労働の改善に取り組みます。 ①医師の時間外労働上限規制適用への対応 ・長時間労働医師面談の拡充(4月) ・「B水準」「C-1水準」の確実な実行(通年) ・医師労働時間短縮計画の年次改定(7月) ※医師の時間外労働は、原則年間960時間以内(A水準)。地域医療の確保(B水準)、臨床研修・専攻医の研修(C-1水準)など認められた場合は上限が年間1,860時間。休息時間の確保など様々な条件設定。 ②業務の精査及びタスクシフト・タスクシェアの推進 市立豊中病院として重点化すべき機能の検討と併せて業務の精査を行うとともに、特定行為研修修了看護師の育成・活用(再掲)、特定リハビリ病床返還に伴い再配置する人員の確保・活用により多職種連携を強化し、タスクシフト・タスクシェアを進めます。 (2) 全職種にわたる業務効率化・デジタル化の推進を図ります。 ①RPA導入に向けた調整 ・次期病院情報システムに合わせた業務フローの検討に沿ってのRPA導入に向けた調整 ②AI等の活用に向けた調整 ・デジタル問診・その他内部事務に対するAI等の活用に向けた調整	(1) ①長時間労働医師への面談を4月より拡充し、「B水準」「C-1水準」を確実に実行しました。また、11月に医師労働時間短縮計画の年次改定を行いました。 ②特定リハビリ病床返還に伴い再配置する人員の確保や、看護師特定行為管理委員会を設置し、特定行為研修修了看護師の育成・活用の方向性について議論を重ねることで、タスクシフト・タスクシェアを推進しました。 (2) 病院情報システムの更新に合わせて、業務運用の見直しに向けた現行業務のヒアリング調査を行うとともに、RPA導入の可能性について精査を行いました。 システム構築ベンダーのAIの導入事例を参考に、当院での活用に向けた精査を行いました。	(1) ①医師の時間外労働にかかる上限規制を踏まえ、長時間労働医師への面談の継続と、医師労働時間短縮計画の年次改定を実施し、各水準を適用した医師に対し、適切な時間管理、長時間労働の改善に取り組みます。 ② 市立豊中病院として重点化すべき機能の検討と併せて業務の精査を行うとともに、特定行為研修修了看護師の育成・活用(再掲)、メディカルアシスタントの活用などにより、タスクシフト・タスクシェアを進めます。 (2) システム構築ベンダーのRPAの導入事例がなく、他院における成功事例が少ないことから、更なる調査・研究を行います。 病院でのAIの導入実績が乏しく、現状では対象業務が限られていることから、新たにAIの活用が期待できる業務の検討を進めます。
	総合計画		
	2-2- (3) 地域医療の充実を図ります		
	基本政策		
	24 市立豊中病院の機能強化		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	感染症・災害への対応力の維持向上		(1) 大阪府新興感染症に係る協定締結医療機関施設・施設整備費補助金を活用し、陰圧室を院内3病棟に1室ずつ設置を行いました ・コロナ現行の大規模災害対応マニュアルの見直しを行いました。 サイバー攻撃を想定した事業継続計画(I T-B C P)の案を作成しました。 (2) 令和6年度(2024年度)近畿地方DMA Tブロック訓練(11月9日)に参加し、DMA T隊との連携について初めて確認を行いました。	(1) 施設設備の長寿命化検討に合わせた感染症病棟の方向性を検討していきます。 ・サイバー攻撃の被害に遭った場合を想定した訓練の実施に至っていないため、引き続き取り組みを進めます。 ・サイバー攻撃によりシステムが利用できない状態を想定した医療(診療)業務の継続計画の策定(現事業継続計画の改定)が必要です。これに合わせて、再度I T-B C Pの見直しを行います。 (2) 災害時対応訓練の内容を強化して実施していきます。
	(1) 今後新たな感染症が発生した場合においても、対応力を落とすことなく感染症指定医療機関として病床確保等必要な医療提供体制を確保していきます。 ・大阪府と医療措置協定を締結(令和6年3月31日) ・様々な災害・状況を想定したシステム対応マニュアルの整備 ・I T-B C Pの策定 (2) 災害時対応訓練を実施します。〔拡充〕 ・市の対策本部・健康医療部(医療本部)・豊病協・三師会・訪問看護S協会等との連携を取り入れた内容強化			
総合計画				
	2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
基本政策				
	16	感染症対策の強化	24	市立豊中病院の機能強化

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など			スケジュール(工程)	
1	急性期医療を中心とした医療機能の充実 （１）地域の急性期医療を担う中核病院として手術を含めた専門的な医療を充実させるとともに、救急医療を強化します。また、地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たし、質の高いがん医療を提供します。 【重点1】 （２）医療DXの実現に向け、デジタル活用を中心に医療機能の充実を進めます。			①地域医療構想・大阪府第8次医療計画への対応　市立豊中病院運営計画（令和5年度～9年度）の推進（令和5年度）　②がん医療の充実　がん診療連携拠点病院の指定更新（令和8年度）　③オンライン診療の促進　オンラインの診療に向けた地域医療機関との調整（令和7年度）　④当院の重点領域の強化、病院間機能集約に備えた取組み　当院の「強み」・「機会」等の分析に基づく重点機能連携の推進（継続）　⑤消防局救急救命士配置の本格実施（24時間×365日）（令和7年度）　⑥救急総合診療センターの設置（令和8年度）　⑦医療の質改善活動の継続（継続）　⑧感染症指定医療機関としての機能強化（継続）　⑨病院情報システムの更新（令和6年度～令和7年度）　⑩AI等の活用による業務の効率化（令和7年度）　⑪業務の効率化に向けたデバイスの整備（令和7年度）　⑫ICTを活用した患者サービスの向上（令和7年度）	
	総合計画				
	2-2-（3）	地域医療の充実を図ります			
	基本政策				
	16	感染症対策の強化	24	市立豊中病院の機能強化	
	37	オンライン診療の促進	42	がん患者等への支援の充実	
2	地域連携の推進 （１）地域の医療機関との機能別役割分担と連携の強化を進め、当院が地域において、急性期医療や専門的医療を迅速に提供できる体制づくりに取り組みます。 （２）誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく安心して生活ができるよう、地域の医療機関や介護事業者、教育施設等との連携により、医療面から生活をサポートすることで、地域包括ケアシステムに貢献します。地域の医療機関や各種施設への研修会・講習会等を通じて、地域の医療水準向上に寄与します。			継続して実施 ①紹介率・逆紹介率の向上、「地域医療支援病院」基準の遵守 ②医療機関訪問の強化、充実した「返書」による報告の徹底 ③地域医療機関間の連携に関する医療DXの推進（「市立豊中病院ネット」普及拡大等） ④多様な手法による病院間連携の強化（連携パスの活用等）	
	総合計画				
	2-2-（3）	地域医療の充実を図ります			
	基本政策				
	24	市立豊中病院の機能強化	38	在宅医療と介護の連携促進	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	医療の安全と患者サービスの向上 （１）安心して質の高い医療が受けられるよう、事故防止に向けた取り組みや職員の安全意識・対応能力向上、患者や家族のサポート体制強化など、安全な医療の提供に取り組めます。 （２）患者やその家族が安心して快適にサービスを受けることができるよう、職員の接遇能力向上や快適な院内環境を整備し、患者満足度の向上に取り組めます。		①日本医療機能評価機構からの評価受審と認定（令和7年度） ②中長期的視点に立った施設保全の推進 ・エレベーターの更新計画の適正な執行（R5～R7） ・救急・外来フロア等院内スペースの再編（R8～） ・施設更新を見すえた重点領域の強化・連携の推進（R7～） ・施設更新にかかる基本方針策定（R8） ③患者動線の改善（掲示、サイン等の見直し）（令和8年度） ④児童相談所等の開設に合わせた養育支援および連携の体制構築（令和7年度） ⑤インシデント事例報告に基づく継続した改善（継続実施） ⑥「患者満足度調査」「患者の声」等に基づく改善活動の推進（継続実施）	
	総合計画			
	2-2-（3）	地域医療の充実を図ります		
	基本政策			
24	市立豊中病院の機能強化			
4	安定した経営基盤の確立 （１）当院が公立病院として、また地域の急性期医療を担う中核病院としての役割を果たしていくため、持続可能な経営基盤を確立し維持します。【重点2】		①収支構造の安定した黒字化・累積赤字の解消（令和8年度決算）、資金剰余額の上積み（令和9年度決算時点 95億円） ・収益の向上（病棟別及び診療科別の目標値の設定・指標モニタリング・課題抽出・改善）（継続実施） ・費用の適正化（近隣病院との薬品・診療材料の共同購入及び委託料縮減に係る検討）（令和7年度～） ②病院運営の効率化 ・物品管理業務（SPD）の管理形態の見直し（令和7年度）	
	総合計画			
	2-2-（3）	地域医療の充実を図ります		
	基本政策			
24	市立豊中病院の機能強化			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など			スケジュール(工程)	
5	人づくり・組織づくりの推進【重点3】 (1) 職種毎のキャリア形成支援の仕組みを強化し、エンゲージメントの向上(成長できる組織という実感)を図ります。			①各職種の育成プラン(令和6年度作成)に基づいた研修等の実施(令和7年度)	
	総合計画				
	2-2-(3)	地域医療の充実を図ります			
基本政策					
	24	市立豊中病院の機能強化	65	職員力を高める人材育成等の推進	
6	働き方改革の推進 (1) 医師の健康を確保するため労働環境の改善に取り組むとともに、タスクシフト・シェアなどすべての医療従事者それぞれが自らの能力を活かし、より能動的に対応できるよう働きがいのある職場づくりに向けた取り組みを進め、良質な医療サービスを提供します。 (2) 全職種にわたる業務効率化・デジタル化の推進を図ります。			医師の働き方改革への対応 ①医師労働時間短縮計画の推進及び年次改定(継続実施) ②医師の時間外上限規制に係る「B水準」「C水準」の確実な実行(令和6年度(2024年度)～) ③産業医による長時間労働面談(継続実施) ④医師の働き方改革に関する研修(継続実施) ⑤タスクシフト・シェア(医師の仕事の一部を他の職種に移管)の推進(継続実施) 全職種にわたる業務効率化・デジタル化の推進 ①AI等の活用による業務の効率化(令和7年度)【再掲】 ②業務の効率化に向けたデバイスの整備(令和7年度)【再掲】	
	総合計画				
	2-2-(3)	地域医療の充実を図ります			
基本政策					
	24	市立豊中病院の機能強化			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)	
7	感染症・災害への対応力の維持向上 （１）新型コロナウイルス感染症への対応で培った経験や知見を組織として定着させ、今後の感染拡大や新たな感染症の流行があった場合においても、市民の安心の拠り所となるよう公立病院としての責務を果たします。 （２）サイバーセキュリティ対策の充実・強化を図ります。	①新たな感染症流行拡大に備えた対応 ・医療措置協定に基づく対応 ②災害対応マニュアルのバージョンアップと訓練の充実（令和6年度～） ③ＩＴ－ＢＣＰの策定・見直し ④様々な災害・状況を想定したシステム対応マニュアルの整備・見直し	
	総合計画		
	2-2-（3） 地域医療の充実を図ります		
	基本政策		
16	感染症対策の強化		